

2019年 APAC 会議参加報告

独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター (IAJapan)

1. 開催日・場所

開催日：2019年6月17日～21日

場 所：シンガポール (The Mandarin Orchard Hotel)

2. 開催日程

6月17日 APAC広報委員会 (Communications and Promotion Committee)

6月18日 APAC 能力強化委員会 (Capacity Building Committee)

6月19日 APAC 技術委員会1 (Technical Committee 1)

6月19日 APAC 技術委員会2 (Technical Committee 2)

6月20日 APAC MRA評議会 (APAC MRA Council)

6月21日 APAC総会 (APAC General Assembly)

3. 会議の概要

2019年1月、APLAC(アジア太平洋試験所認定協力機構)及びPAC(太平洋認定協力機構)が統合され、新たにAPAC(Asia Pacific Accreditation Cooperation:アジア太平洋認定協力機構)が設立されてから初めてのAPAC会合が開催された。設立後、初めての会合ということもあり、委員会毎の所掌事項及び年度予算の承認、今後3年間の戦略プランの説明、新体制の紹介が、報告、議題の中心であった。

各委員会における決定事項、又は、主な議論の内容は以下のとおり。

3-1. APAC 広報委員会 (Communications and Promotion Committee)

○APAC 広報委員会アンケート結果について

2019年6月に各認定機関に対し実施されたアンケート結果について広報委員会主査から報告があった。アンケートの内容は、APAC websiteの利用状況、その利便性、及び、今後、期待されるAPAC広報戦略について、問うものであった。なお、新たに開設されたAPAC websiteの利便性については、認定機関の多くが満足しているとの結果であった。

○APACの今後の広報活動について

上記のアンケート結果に基づき、APAC最新情報を積極的に発信していくことの重要性については、意見が一致していた。ただし、その発信の手段について、様々な意見があり、Facebook等を活用し、最新情報を随時、発信していくべきとの意見が出される一方で、現状では、EAと比較し、予算も少なく、事務局のリソースの関係からpdfでニュースをweb上で配信するのが、限界だとの説明があった。

○タスクフォースの設置

上記、議論の内容も含め、広報関係の戦略を具体的に構築するためのタスクフォースグループを設置する旨、主査から提案があり了承された。参加を希望した認定機関は、4機関あった。

3-2. APAC 能力強化委員会 (Capacity Building Committee)

○CBC委員会が実施したアンケート結果について

CBC委員会がAPACメンバーに対して実施した開催を希望するトレーニングの内容及びその実施形態（座学、出張トレーニング、e-learning等）についてのアンケート集計結果が報告された。

○ 2019年度、2020年度、2021年度APACトレーニングプランについて

アンケート集計結果に基づき、3年間のトレーニングプランが提示された。なお、現段階で日程が確定しているトレーニングプランは以下のとおり。

- 2019年8月12-14日： Energy Management System認証トレーニング
- 2019年9月24-26日： RMP,PTPトレーニング
- 2019年11月4-6日： Validation and verification (GHG)
- 2019年11月12-14日： ISO/IEC 17025 Accreditation experience sharing

○タスクフォースの設置について (CBC Action 1901)

Associate Memberをサポートするための戦略を構築するためAPAC CBC タスクフォースグループメンバーを募った。MRA認定機関から2名、Associate Memberから2名タスクフォースに参加することとなった。なお、第1案は、2019年12月31日までにAPACメンバーに回覧され、2020年2月21日までに、APAC理事会にFinal draftが提示される予定。

3-2. APAC 技術委員会1 (Technical Committee) (対象：ラボラトリー、RMP、検査機関)

○各Sub committee報告。

PT、Software、APEC TEL、Calibration、Inspection、Medical、RMP、Uncertainty in testingの各Sub committeeから報告があった。

- PT sub committee

APAC移行に伴い、CommitteeからSub-Committeeに格下げとなった。また、(1) ISO/IEC 17011, 17043, ISO 13528に関連する指針、手順書、ガイダンス文書の制定、(2) 地域内におけるPTに関連する課題を検討できるよう当WGの所掌が見直された。なお、2019年度実施予定の5件の技能試験については、全て食品分野であった。

- APEC TEL sub committee

“Guide on Software Testing”については、その進捗状況、必要性を鑑み、ガイド制定の作業を中止する旨、決定した。

- その他のsub committee

ワークショップ開催等活動報告のみであった。

○APLAC文書のAPAC移行後の扱いについて

以下のAPLAC文書について廃止される旨、報告があった。

- APLAC TC 004 APLAC Method of Stating Test Results and Compliance with Specification
- APLAC TC 006 APLAC Guidance note on ISO/IEC 17020
- APLAC TC 007 APLAC Guidelines for Food Testing Laboratories

- APLAC TC 010 General Information on Uncertainty of Measurement
- APLAC TC 012 Guidelines for acceptability of chemical reference materials and commercial chemicals for calibration of equipment used in chemical

○その他、提案

Remote siteの審査についてガイダンス文書があれば良いのではないかと提案があり、IAFサイドにて、これに類する文書（IAF MD4）が既に制定されていることから、その必要性も含め共同で検討するようTC2に提案することとなった。

- a) 主要適合性活動（Key activity）が実施されているサイトの審査及び、その特定（選定を含む）について
- b) リモートサイトの審査及び審査技術について
- c) バーチャルサイトの審査及び審査技術について

○新TC1メンバーの紹介

TC1議長：Mr. Adam Gouker (A2LA)、副議長：Mr. Zhaowei He (CNAS)

3-2. APAC 技術委員会2（Technical Committee）（対象：認証機関）

○フレキシブルスコープの申請にかかるガイダンス文書制定について

フレキシブルスコープの申請にかかるガイダンス文書を制定するために「フレキシブルスコープにかかる APAC TC2 タスクフォース」メンバーを募った（TC2 action 1901-03）。なお、第1案については、2019年12月31日前までに、APACメンバーに対しコメント投票が実施され、2020年2月21日までに APAC EC の承認を得るよう最終案が作成される予定。ガイダンス文書の適用範囲については、TF 主査が TC1 議長と TC2 議長と協議することになった。

○Key activity、Remote site、Virtual site に関する合同ワーキンググループの設置について

上記、TC1 から提案のあった Key activity、Remote site、Virtual site に関する課題について検討する TC1 と TC2 の合同ワーキンググループ(JWG)の設置提案について同意が得られた。なお、検討にあたっては、APLAC TC 013 を考慮するようリクエストがあった。JWG での議論の結果については、次回開催の APAC TC1 及び TC2 において報告される予定。

○APAC 17065 WG 活動報告

Dr. David Crucefix (IOAS)より WG の概要が報告された。

- EIAC のディスカッションペーパー（認証機関の認定を取り消した場合の認証の有効期限の明確化）についての製品認証 WG メンバーからはいくつかの取り組み事例について情報共有があったが、対処すべき期間の整合化はできないことが合意された。
- 適合性評価スキームの評価基準等を定めた IAF MD 案について、「IAF MD 案は IAF MLA の適合性評価スキームに限定すべきであり、認定機関が使用する全ての適合性評価スキームを対象とすべきでない」という内容を IAF へ提言するかどうかの投票があり、投票の結果、賛成多数、反対 2 件、保留 2 件であった（後日 GA に報告され、正式に APAC より IAF に提言することになった。）。
- APAC TEC4-002（ISO/IEC 17065 の有機認証に係るガイダンス文書（ISO/IEC 17065 の項立てに合わせる形式で、要求事項の適用に係るガイダンスが記載されている文書）を IAF ガイダンス文書にするよう IAF へ提案する。
- TC2 の中では特に言及はなかったが、International Halal Accreditation Forum(IHAF)の MRA のための 2 文書について PCWG の会議中に紹介があった。基本的なルールは IAF/ILAC MRA のル

ールを準用している。

–有機及びハラルは、製品認証 WG 下で引き続き議論することになった。

3-2. APAC MRA 評議会

○ISO/IEC 17011:2017 移行に伴う APAC Evaluation 移行スケジュール

ILAC MRA/IAF MLA 加盟認定機関については、2020 年 10 月までに、ISO/IEC 17011:2017 に移行しなければならない。そのため一部の認定機関については、認定機関から提出される品質マニュアル等、マネジメントシステム文書による書類審査によって、ISO/IEC 17011:2017 移行状況を確認する旨、報告があり、全 APAC 加盟認定機関の移行スケジュールが合わせて示された。

書類審査をする評価員、審査を受ける認定機関から書類審査の実施方法、評価チームへの文書の提出時期等、多くの質問が寄せられた。ただし、IAJapan については、書類審査を挟むことなく、通常の APAC 評価手順に従って、評価が実施される（2019 年 12 月）。

○新 APAC MRA 協議会 メンバーの紹介

議長 Mr. Trace McInturff (A2LA)、新副議長 Mr. Bruce Li (TAF)

3-2. APAC 総会

○APAC GA 1901 Resolution 2019-01 – 適合性評価スキームの評価のための基準に関する決議
APAC TC2 での提言に基づき、APAC 総会においても賛成多数により、次の通り決議した。

a) 「IAF MD X:201X 適合性評価スキームの評価のための基準(Rev 11)」を開発することについては承知しているが、当初、想定された文書の対象スコープ及びあり方について懸念がある。

IAF MLA の参考として、IAF によって認められる適合性評価スキームをレビューするためにのみ適切な文書とみなされるが、認定機関のレベルにおいて強制文書であることは望ましくない。

b) APAC Members に現在の形での文書案に対し反対票を投じることが望ましい。

○リエゾン及び上記の各委員会からの報告

IAF、ILAC、ARAC、IAAC、APMP から現在の活動状況について報告があった。

○APAC 議長及び副議長の承認

Ms. Chang Kwei Fern (SAC) が APAC 議長として、Ms. Jennifer Evans (NATA) が APAC 副議長として承認された。また、新たな理事会メンバーとして、Mr. Kuku S Achmad (KAN)、Mr. Vu Xuan Thuy (BoA)、米岡優子 (JAB)、Mr. Bruce Li (TAF)、Mr. Brahim Houla (GCA)、Mr. Reinaldo Figueiredo (ANAB)が紹介された。

5.その他

○次回、APAC 会議の開催場所、日程について

場所：アブダビ

以上